

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 2月 22日

事業所名 eravu名塩

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|----|--|----|-----|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮している。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 6 | 0 | 人員配置基準を満たしている。 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 0 | 6 | スロープのある出入口を利用している。 | 古い建物なので室内に段差がある。対策を検討する。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | 0 | 各事業所ごとに定期的に振り返りを行っている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | 0 | 保護者向けのアンケート調査を実施しており、業務改善するように努力している。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | HPで公開している。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 6 | 他事業所と連携しながら評価を行っている。 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 0 | 毎週一回研修担当の職員が中心となって研修を行っている。 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 療育の中でアセスメントを行ったり、発達検査や視知覚検査の結果を踏まえて計画を立てている。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | WISCやk式発達検査の結果、視知覚検査の結果を元にアセスメントをしている。 | 標準的な発達段階の表等、照らし合わせるができるような共有の指標も用意したい。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 0 | 職員がアイデアを持ち寄り、事業所の職員全員で検 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 0 | 1週間ごとに違うプログラムを考えている。運動系と机上系を用意するなどプログラムの種類が被らないようにしている。 | |

| | | | | | |
|----------|----|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | 0 | 季節に応じたイベントを開催している。 長期休暇の際は宿題を一緒に勧めたりしている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 学習、工作等は個別で、そのほかは集団で活動計画を立てている。個別に過ごすお子さんにも対応している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 0 | 1対1で対応するお子様の確認や、その日の職員の動 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | 0 | 1週間ごとにプログラムの振り返りや気になったお子様の様子について共有している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | お子様の様子や気になること、出来事などを職員全体で共有し、スプレッドシートに記録している。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | 半年に一度行っている。必要があれば適宜行っている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている | 6 | 0 | 年齢に合わせて必要な支援を組み合わせている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----------------------------------|---|---|-------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | 直接支援をしている職員が行くことは難しく、児発管が行くことが多い。参画する前には直接支援をしている職員から様子を聞き取っている。 | 支援会議等に行く前に会議に参加する児発管がその子の実際の様子を見ておく。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 0 | 6 | 子どもの様子も含め各学校の先生と頻りに連絡を取っている。 | 下校時間や送迎場所についてのトラブルがあるため、保護者や学校との連絡をより密に取るようにする。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 0 | 6 | | 医療的ケア児はおらず、受け入れ予定もない。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 0 | 就学前の支援会議等に参加しているが、会議がない場合はこちらから問い合わせることはない | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | 0 | 支援会議に参加したり、問い合わせがあれば報告している | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 0 | こども未来センターの事例検討などの研修に参加している。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 6 | 特に必要性を感じていないが、公園では近所のお子さんと遊んでいる | |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 0 | 6 | 参加はしていない。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | 毎回ラインでお子さんの様子をお伝えしている。相談があればすぐに応じるようにしている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 0 | 6 | お子さんの特性に寄り添う話し方や環境設定等については随時お伝えしている。会を設けてはいない。 | |
| 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 契約時、計画作成時には伝えている。 | | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|----------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | 保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応している。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 6 | | 要望があれば検討する。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | 即時対応している。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 0 | 会報は発行していないが、Instagram等で活動の様子などを発信している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | 写真等特に留意している。 | 個人のPCや携帯での写真や情報の管理は徹底していく。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 保護者によって相談の仕方や報告の文面を変えたりしている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | | 必要であれば検討していく |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | 0 | 避難訓練を実施し、災害時や緊急時にどのように動くかを確認している。また、発熱時の対応について職員や保護者にマニュアルを共有している。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 0 | 定期的に各種災害の避難訓練を行っている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | 虐待や身体拘束の研修を行っている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | 0 | 身体拘束があった場合は職員間で共有し、適切だったかを検討している。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 0 | 6 | 医師の指示は受けていないが、保護者から詳細を聞いている。食品を扱うプログラムを実施する際は保護者に確認している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | 事例集は作成していないが、毎朝ヒヤリハットを共有し、スプレッドシートに記録している。 |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7年 2月 22日

保護者等数（児童数）43 回収数 18 割合 41%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-----------------|----------------------------|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 12 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・最初行かせてもらったとき、こどもが多い時もありました。今名塩ガーデンのスペースもあり、スペース前より十分ありそうです。 ・勉強する子のための部屋は別になっており集中しやすい環境を整えて下さっていると思います。 ・たまに様子を見るため参観日のようなものが欲しい。 | 定期的に保護者参加型の参観日やイベントの開催を検討し、日常の療育や活動の様子をご覧いただける機会を設けてまいります。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 13 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・教員資格等をお持ちの職員さんが殆どだと聞き安心しています。 ・個の個性を親では気が付けてない面を、よく気が付けてくださる先生方ばかりだと思います。それぞれの先生の意識が高いのだと感じており、安心して託せます。また細かなところまで気がつか先生方のご意見だからこそ、親も信頼して聞けます。 | 引き続き職員の専門性を活かした療育を行うとともに、保護者の方々に向けたご報告をし、療育の取り組みをご共有いたします。 |

| | | | | | | | | |
|----------|---|---|----|---|---|----|---|---|
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 2 | | 12 | 吐き出し窓に手すり付きのスロープがあり出入りしやすくなっていると思います。 | 古い建物で部屋と部屋の間に段差があるが、特に危険はありません。必要があれば個別に対応しています。スロープのある出入口を利用しています。 |
| 適切な支援の提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか | 17 | | | 1 | 子どもや保護者の意見をきちんと取り入れて計画を作成して頂いてありがとうございます。 | 発達検査や視知覚検査の結果を踏まえて計画を立てています。 |
| | 5 | <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか | 15 | 2 | | 1 | その日の息子の調子などにも合わせて活動して下さっていると思います。 | お子さま一人ひとりの調子に合わせた個別対応を継続するとともに、活動内容や工夫を保護者の方々に共有し、安心してお預けいただける環境を目指します。 |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 3 | 1 | 2 | 12 | 入所して半年であり、受験勉強をメインにして頂いていたため、現在のところはそのような活動があったとは聞いておりません。個人的には、障害のない子供との交流は率先して求めてない。むしろ学校などの社会で頑張ってる子供たちが、自分を含め色々な特徴のある方が居るのが社会だと言う事を学べたら良いと思っています。 | 子どもたちが社会の多様性を学べるプログラムを企画し、より多様な視点を養える場を提供してまいります。 |
| | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 16 | 1 | 1 | | 入所時にご説明いただいております。 | 入所時にご説明しております。 |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 14 | 4 | | 1 | とても満足です。毎週丁寧な報告をしていただきありがとうございます。LINEで頂く利用日の細やかな報告内容に、いつも感謝しております。どんな意識で療育を下さってるか、またその様子と、今後の課題や目的など、家でも意識できる内容が特にありがとうございます。 | 現在のLINE報告を継続し、さらに家庭での取り組みに活用できる具体的なアドバイスを追加するなど、内容の充実を図ってまいります。 |

保護者への説明等

| | | | | | | | |
|----|--|----|---|---|---|---|--|
| 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 10 | 6 | | 2 | 支援会議の際に丁寧に話を聞いていただきました。こちらからお声がけしない限り基本的にお話をする機会がないように感じています。エラブさんが無いと、親も子もとても困ります。と言っても過言では無いです。専門的な知識と、子供の個性をよく見て下さってる中で頂く助言は、信頼と信用と安心感が大きすぎます。 | 嬉しいご感想ありがとうございます。保護者の方からの連絡を受け、電話や訪問で対応しています。 |
| 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 3 | 6 | 5 | 入所して半年なので、まだそのような機会はありません。なかなかお忙しくて回数としては少ないですが、また以前のような親の交流会あれば嬉しいなと思います。 | 保護者の方の連携はご希望に応じて検討していきます。 |
| 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | | | 8 | ・入所時に苦情がある際の連絡先も説明いただいているので、何かあった際も安心だと思っております。 ・トラブルが起きた事がないので分かりません。 | 随時電話やラインで受付けています。どの職員でも対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。 |
| 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 15 | 1 | | 2 | LINEがあるのでいつでも連絡しやすくありがたいです。 | 視覚支援や個別連絡による配慮を行っています。 |
| 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 15 | 2 | | 1 | ホームページで見やすく発信して下さっていると思います。 | ラインワークスやインスタグラム、ホームページで発信しています。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|--|---|---|---|
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 14 | | | 4 | 入所時に個人情報に関する説明もしていただき、写真をホームページ等にも載せても良いかの確認もしていただきました。 | 個人情報に関する説明と確認にご満足いただけたとのこと、大変嬉しく思います。今後も個人情報に十分注意してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 11 | 1 | | 6 | 入所時に説明いただいています。冊子を頂いているかも知れませんがよく理解できておりません。 | マニュアルは策定し、職員には周知していますが、保護者様への周知が不十分だと感じています。今後HPへの掲載を検討します。 |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 12 | | | 6 | 入所して半年なのでまだ訓練は経験しておりません。 | 年に4回ほど定期的に行っています。今後HPへの掲載を検討します。 |
| | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 16 | 2 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・まだ楽しいよりも緊張する気持ちが勝っているようです。ただとても居心地は良いそうです。 ・とてもとても楽しみに通わせてもらっています。学校に行けずとも、デイだけは絶対行きたい！と準備も自分からします。また彼の自信や可能性を伸ばしてくれる大切な居場所でもあります。尊敬する先生や、仲良しのお友達も出ていますので、大切な社会生活を学ぶ場でもあります。 ・とてもとても楽しみにしています！ | お子さまの自信や可能性をさらに伸ばせるような活動やプログラムを継続して実施するとともに、日々の様子を保護者の方に積極的にご報告してまいります。 |

| | | | | | | |
|-----|----|----------------|----|---|---|--|
| 満足度 | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 14 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に対応して頂いており、とてもありがたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 ・本人も親も大変満足しています。 ・どんな方が指導してくれているのが明確になっていないのでスタッフさんな名前と顔が一致しない。ブログなどがあって自己紹介などして欲しい。 ・いつもサポート感謝しております。この間送迎の際事故？脱輪？があったようで子供が不安がっていました。事業所の方からはそのようなお知らせがなく不安に感じました。命を預けて送迎を利用していると思うため、そのような事があったなら状況などお知らせ頂きたいなとか感じました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の自己紹介をブログへ掲載することを検討いたします。 ・このたびは送迎時にお子さまが不安を感じられる状況がありながら、事業所からのご連絡が行き届かず、大変申し訳ございませんでした。安全面に関してご不安をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後は、万が一トラブルが発生した際には速やかに状況を保護者の皆さまにご報告するとともに、送迎時の安全対策をさらに強化してまいります。安心してご利用いただけるよう全力で努めますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。 |
|-----|----|----------------|----|---|---|--|

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|---------------|
| ○事業所名 | eravu名塩 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 12月 3日 | | 2024年 12月 13日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 43 | (回答者数) 18 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 26日 | | 2025年 1月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 22日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者からの評価が高く、安心して子どもを預けてもらえる環境を提供できている。LINEなどを活用したこまめな報告が好評。 | お子さんが通っている学校でのご本人の様子や先生方の関わり、家庭での関わりやデイでの療育を保護者さんに伝えている。 | ご家庭の様子や保護者の方の要望を先生方とも共有し、ご家庭、学校等、デイで協力体制を構築していきたい。日々の関わりだけでなく、進路を視野に入れた取り組みを重視している。 |
| 2 | 教員資格を持つ職員が多く、学習支援に満足していただいている。発達障害に関する専門性を持ち、お子さんの特性に合わせた支援方法を提案できている。 | 研修や事例検討を行い、障害や子育てに関する知識を深める。複数の職員がチームで問題に関わり解決策を検討している。 | 保護者の方から希望された面談だけでなく、定期的な面談をおこない、発達状況の確認、ご本人の困りごとの把握、進路等について共有する機会を設ける。 |
| 3 | 運動・学習・遊びなど、多様なプログラムを用意し、子どもの興味や成長に合わせた活動ができる。季節ごとのイベントや特別活動を通じて、楽しみながら成長できる機会を提供している。 | 子どもたちが様々な経験を積めるよう、毎週異なるプログラムを用意している。また、プログラム参加時にはアセスメントを行い、個々の特性に合わせた内容を提供している。 | 保護者や学校と連携し、日常生活や学習の課題を反映したプログラムを導入する。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 親同士の交流会が減っており、希望する保護者もいる。 | 交流の場の必要性を職員側が十分に把握できていなかった。 | 少人数制やオンライン形式など、参加しやすい形での交流会を企画する。 |
| 2 | 下校時間や送迎場所についてのトラブルがある。 | 保護者や学校との連絡をより密に取れていない。 | 保護者や学校との連絡をより密に取れるようにする。 |
| 3 | 防災・緊急時対応の周知が不足している。 | 保護者に対する説明の機会が少なく、マニュアルの配布や掲示も不十分。避難訓練の実施状況を保護者に報告していないため、取り組み自体が伝わっていない。 | 非常時対応マニュアルを保護者向けに分かりやすくまとめ、配布・掲示する。避難訓練の実施報告をLINEやお便りで定期的に共有する。 |